

外国語学部生が考えたトイレ企画が、アトレヴィ三鷹のトイレで好評開催中！

(株)アトレと外国語学部の古本ゼミ生 5 名(佐々木美柚さん、山本晴菜さん、高津戸勇貴さん、村中沙妃さん、山下健さん)が協働でトイレ企画を考案し実現したものです。学生はトイレを利用して頂くお客様に“快適な空間の提供”と“アトレヴィ三鷹のPR”が推進できる企画を提案するため、トイレの研究と市場調査を幾度も重ねて実現に至りました。学生の感想をご紹介します。

【折り紙占い】 1月11日(木)~1月21日(日)

【感想】 折り紙占いを利用してくださった方に喜んでもらった事が、この企画を行ってよかったと思える瞬間でした。折り紙 500 個を準備したり POP の作成など、簡単に行えるものではなかった分、利用者楽しんでもらえて本当に良かったです。

【QR コードクイズ】 1月11日(木)~1月28日(日)

【感想】 「QR コードを読み込んでクイズ」を実施しました。クイズの内容は三鷹市に関係したものでした。課題もありましたが、今後活かしていきたいです。

【トイレトペーパーの芯アート】 1月18日(木)~2月18日(日)実施中！

【感想】 「見た人が真似したくなるような芯」「ちょっとフォトジェニックな芯」「アトレの雰囲気にあった芯」をイメージして立体額に芯をアートしました。

【全体的な思いと感想】

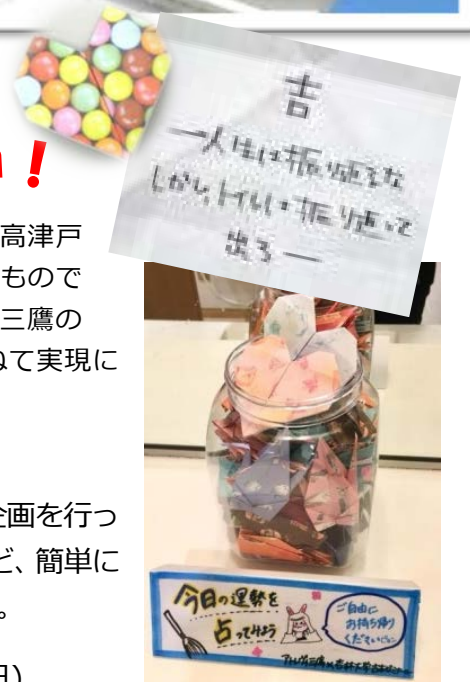
ここに至るまで平坦な道のりではありませんでした。お金をかけず斬新なアイデアが欲しいという要望を受け、私たちは身の回りの全てにアンテナを張りながら常にヒントを探しながら生活をしました。このとき、アイデアを出すことの難しさを痛感しました。でも、企画が決まり、準備をしているとき「トイレを訪れた人がきっと喜んでくれる。」と思うと大変な作業が希望に変わり、楽しめるようになりました。実施してからは、実際に折り紙占いを手に取って帰って下さる姿を見て《やってよかった》と思いました。私達にとっては大変貴重な経験となり、利用者の皆様には一味違ったトイレを経験して貰えた活動となりました。

(株)アトレの担当者の方から芯アートについて「可愛いアートでトイレ内が少し華やかになったみたいで嬉しいです！」とコメントも頂きました。三鷹駅改札外の 2 階と 5 階の女子トイレで『芯アート』展示中です。

救急救命学科の学生による三鷹市立中学校の BLS 指導開始。



三鷹消防署防災安全係より依頼を受けて、三鷹市立中学校における保健学部救急救命学科の BLS 指導（普通救命講習）が、今年度から活動を開始しました。1月16日(火)初回である第二中学校 1 年生 180 名に、保健学部救急救命学科の学生 5 名が、一人 10 名程度の中学生を担当して熱心に BLS 指導を行いました。今後 3 月までに合計 6 ヶ所の三鷹市立中学校、総数約 968 名に BLS 指導を実施する予定です。





学生の活躍が輝いています。

第9回大学コンソーシアム八王子学生発表会で 総合政策学部生が優秀賞、奨励賞を受賞！

12月9日(土)・10日(日)八王子市学園都市センターに於いて、産学連携及び地域活性化につなげることを目的とした“大学コンソーシアム八王子学生発表会”が開催され、学生が日頃の研究成果を企業、学生、市民の前で発表しました。この発表会に参加した、総合政策学部のゼミ生が『学生が八王子市長へ直接提案！』部門で受賞に至りました。

【優秀賞】久野ゼミ生(市村優典さん、大國真紀さん、高野真衣さん、高橋凌さん、長谷川貴一さん、平井貴大さん)が『八王子発「省力型」人材マッチング制度の提案』で受賞しました。

久野ゼミの提案はこちらをご覧ください。→



【奨励賞】木暮ゼミ生(小岩真生さん、近藤佳さん、鈴木幸香さん、根津佳明さん、橋本真希さん)が『高尾山着せ替え替え作戦』の発表で受賞しました。

木暮ゼミの発表者である小岩真生さんは『チーム全員で受賞という喜びを感じる事ができて嬉しかったです。八王子市長に直接提案できる貴重な機会を頂き、それに向け遅くまで学内で作業した経験も良い思い出です。木暮先生始めご協力頂いた皆様に感謝しています。この経験を自分たちの今後に活かしていきたいと思います。』との感想を伝えてくれました。

木暮ゼミの提案はこちらをご覧ください。→



外国語学部 観光交流文化学科 4年の菅野桃香さんが、 平成 29 年度内閣府国際青年育成交流事業に参加しました。



菅野桃香さん

菅野さんが参加したこの事業は、選考を経て選ばれた青年が日本代表として海外に派遣され、訪問国にて社会事情に関するディスカッションや日本文化の紹介、施設訪問等を行うものです。

菅野さんから「2017年9月にバルト三国に属するエストニア共和国を訪問しました。現地では、教育大臣や日本大使館への表敬訪問、現地青年とのディスカッション、エストニアが発祥でもある Skype オフィスへの企業訪問等を行いました。IT や教育の先進国であるエストニアですが、“海外観光業”“地域活性”分野への学

びを深めることができました。」と、参加した手ごたえを伝えてくれました。

詳細はこちらをご覧ください→



外国語学部 英語学科 4年の青木茉実さんが、 「大学生プレゼンテーションコンテスト」で特別賞を受賞。



2017年11月19日(日)、川村学園女子大学目白観光文化研究所主催「第1回 大学生プレゼンテーションコンテスト」が開催され、外国語学部4年生の青木茉実さんが、働き方とまちのあり方という2つの現代的な課題について、半非日常空間「フォースプレイス」(第4の場所)という独自の概念を提示して、すべてのまちが観光地または都市を目指す必要はないこと、刺激的でクリエイティブな仕事と健康的で平穏な暮らしの両立が可能であることをユーモアを交えて訴え、特別賞の受賞に至りました。

詳細はこちらをご覧ください→

